

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:平成 4 年 3 月 10 日

公表:平成 年 月 日

事業所名 ジーニアスキッズ植田校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	家具の設置場所等、活動しやすいよう適宜変更している。	走り回れる余裕はあるが、個別支援やクーリングする個室をパーティション等で対応していきたい。
	2	職員の配置数は適切である	6	0	日々利用者の発達状態に合わせて、安全性を確認する為、他施設に支援を依頼し過配置にしている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	0	・勉強場所を区切ったり、視覚優位の時には目の情報を得やすいような指示を心がけている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	1	定期的に空間配置を替えて、活動しやすい環境整備に努めている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	1	"なぜ"と疑問をもって原因を探し、夕礼やミーティングで情報共有と共通認識の元支援出来る様努めている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1	送迎時や面談で保護者様の意向を頂いた時にミーティングにて業務・支援改善に努めている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	・職員同士で話し合う機会も多くあり、また内容もすべての人が共有できるよう日々ノートに記載している。 ・ホームページにて公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3	第三者評価は取り入れていない。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	会社でそれぞれの目的に合わせた研修を行っている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	送迎時や面談で課題を共有し計画書に盛り込んでいる。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	・スタッフ全員が作成されたアセスメントツールを見て支援している。	スタッフ全体で、統一された支援が行えるよう、情報の周知を徹底していきたい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	児の発達支援をメインに計画しているが、家族支援、地域支援に関しては記入をあまり出来ていない。	今後考慮して計画書に組み込んでいきたい。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0		支援計画はもちろん、月ごとに親御様が求める支援を行えるよう意見を聞いている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	個々の発達や保護者からの要望に合わせたスクール提供している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	毎月行うプログラムがあるが、近い月で被らないようにしている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0	プログラムには均等に個人と集団を分けて活動している。	個々に必要な支援をより細かく計画書に組み込んでいきたい。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	毎週1週間前に細かく記載されている1日の計画書を皆が把握できるようにしている。	
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	夕礼にて振り返りを行い、その日の情報をノートに書き留め、次の支援へ繋げられるよう努めている。	夕礼にて振り返りを行い、その日の情報をノートに書き留め、次の支援へ繋げられるよう努めている。	

19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1	利用票に記入。夕礼にて振り返りを行い、次の支援へつなげられるよう努めている。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	職員で共有して見直している。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	所長が参画している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	1	相談員と連携とったり、地域子ども会議に参加している。	積極的に関係機関と連携を取れる様発信していきたい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	3	医療を必要とする利用者の受け入れはしていない。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	3	医療を必要とする利用者の受け入れはしていない。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	・保育所での出来事や事業所での情報を共有している。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	3	・自前の聞き取りで聴取しているが、個人としては把握が足りていないので、情報収集を心掛けたい。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	ZOOMでの担当者会議に参加している。	専門機関との連携はまだ十分ではないため、積極的に関わっていきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3		新型コロナウイルス予防対策として交流会等は企画出来ていないが、将来的に考えていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	2		今後把握していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	送迎時や必要時相談・情報共有させて頂いている。	・送迎時や必要時相談・情報共有させて頂いている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	2	2	ペアトレーニングに実践できていないが、対応等相談された場合は支援方法等の提案・助言している。	ペアトレーニング研修を実践していきたい。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1	契約時・適宜不明で問い合わせがあった際説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	・電話や対面での話し合いに基づいて計画書を作成し、同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0		送迎や面談時行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3		・コロナ禍で活動は無いが、今後そのような動きや活動をする話し合いが行われている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	夕礼で情報共有・引き続きを行って迅速な対応に心がけている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	広報誌を2か月に1回保護者様に渡し、活動等お知らせしている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	鍵付きの書庫に保管している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	発語が難しい利用者には写真やイラストで選択できるようにしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4	利用者と住民が関わりを持つ機会がない。	地域に開かれた事業所となれる様、企画していきたい。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1	作成したマニュアルをSNS等で情報共有し、想定された場合も適宜話し合いを行っている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	毎月1回防災に取り組んでいる。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	1	契約時・日々の利用票等で情報を頂いている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	保護者からの指示に添って対応。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1		事例集が少ない為、今後も作成し共有していきたい。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1	夕礼時に話し合いが行われ、対応策も出している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	0	支援計画の一部に、事前に保護者様に了解を待って支援している。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。